ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可　平成2年1月18日
口　座　01000-4-62360

平成22年 No.225 7月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

二ノ湯氏、執念で二度目の勝利
統一地方選を控え、地方議員が燃える

自民党再生への手がかりをつかむ

6月24日に公示された参議院選挙に、京都選挙区からは6人が立候補した。民主党は小沢前幹事長が複数区には2名の候補者を立てるとの方針を決めた。人気のみんなの党も急遽候補者を擁立、それに幸福実現党も参加。自民党、共産党と非常な激戦となり、全国的にも注目の選挙区となってしまった。鳩山政権から菅政権へと交代、政権支持率は急上昇し、序盤の情勢は民主党2名が当選する可能性が強かった。この情勢を覆したのは、菅総理大臣から突如出てきた不用意な消費税発言であった。その上、消費税を民主党が昨年8月の総選挙で国民に約束したバラマキ政策の財源に当てるとなれば、それはおかしいとなるのは多くの国民の声である。しかも、鳩山、小沢両氏の「政治とカネ」、さらに沖縄の普天間飛行場の移設を巡る迷走も国民は決して忘れてはいなかった。終盤になって、府会、京都市会議員を中心に、陣営が危機意識を持って臨んだ結果、二ノ湯候補は、前回の選挙から5万票を減らしたが、30万8千票で当選、自民党再生への途を切りひらいた。

当確が決まり、坪内正一府議の音頭で万歳をする二ノ湯陣営

恒心

★参議院選挙が終わった。民主党の敗北であったが、敗因の多くは菅総理の消費税に関する不用意な発言にあった。ところが菅総理は早々と続投の意思を表明、枝野幹事長以下、党役員も交代なしということになった。敗退の責任を問う声も今のところ大きくはなっていない。★民主党には批判精神が乏しいのだろうか。鳩山、小沢両氏の「政治とカネ」の問題が、あれほど世間で騒がれていても、党内から2人に対して、国会で真相を明らかにして、国民に理解を求めるべきだという声が上がらなかった。本当に不可解である。★かっての自民党ならば、主流、反主流派があって、お互いが牽制しあい、批判して権力の独走を許さなかった。そのことが自民党が長期政権を続けていても、決して独裁政治にならなかった理由である。★民主党には若くて、学歴の高い、しかも輝かしい経歴を持った人が多い。しかし、残念ながら、批判精神、野党精神を備えた政治家があまりにも少ない。いったん手に入れた地位と権力を失いたくないという出世亡者が多いのかもしれない。★そんなひ弱な政治家集団だからいつまでたっても小沢一郎氏に振り回されることになる。民主党の代表選は9月中に実施される。菅代表の続投か、それとも小沢氏が対抗馬を立てるのか、政局は民主党の代表選に注目が集まる。★しかし、日本の政治もいつまでも小沢氏ではあるまい。政治とカネにまみれ、薄汚れた政治家にいつまでかき回されているのか。民主党に小沢氏に堂々と立ち向かう政治家がいないのか。小沢氏は選挙の神様でも類(たぐい)まれな能力を備えた政治家でもない。単なるわがままな、金銭欲の強い政治家にすぎない。今こそ小沢氏の虚像を剝がす時である。

出陣から勝利までの17日間

いざ、出陣、約300人が集う

出陣にあたり、決意表明と感謝の気持ちを述べる

6月24日、参議院選挙の公示日。小雨交じりの日であったが、出陣式に早朝から支援者が激励に訪れた。その数、約300人。先ず選挙対策本部長の伊吹文明衆議院議員が挨拶、続いて来賓の門川大作京都市長・山田啓二京都府知事が激励の挨拶、比例区選挙の本部長を務める西田昌司参議院議員が挨拶した。次に二ノ湯さとし候補が必勝ダルマに目を入れた後、「選挙に当たって、事務所の選定、選挙の諸準備をしてもらった事務所のスタッフに御礼を申し上げたい。今度の選挙は、自民党の再生を賭けた重要な選挙である。是非とも皆様のお力を頂き、勝利を勝ち取りたい」と決意表明した。最後に事務長を務める田中セツ子京都市会議員が17日間にわたる選挙戦について、色々と協力してもらいたいと参会者にお願いの挨拶をした。二ノ湯候補は頑張れという激励の中、立候補の挨拶に向かった。17日間にわたる熱戦の火蓋が切って落とされた。

丹波、丹後地域への街宣活動
保守の強い地盤で温かい歓迎

選挙区の候補者は、通常、公示日から6～7日間は京都市内、京都南部を街宣活動して、その後丹後、丹波地域に入る。今回二ノ湯候補は7日目から舞鶴、綾部、福知山を回った。8日目は宮津、与謝野町に舞台を移した。京都北部地域は元来、保守地盤の強い地域である。反応が今ひとつ、ピンと来ない京都市内、南部地域と違って、自民党候補者にとっては大変心強い感じがする。丹波、丹後地域は面積が広く、街宣車は幹線道路を回るだけで、細かい道はほとんど回れない。したがって京丹後市は、公示直前に小さい集落にまで足を伸ばし、街宣活動を行った。どの地域も自民党の役員が、選挙カーの先導をしてくださり、大変有り難い。幸いに丹後での3日間はいい天気に恵まれ、美しい海や山を背にしながらの街宣活動となった。

舞鶴のユニバーサル造船で朝立ち

外部からの応援が相次ぐ
石破、石原両衆議院議員が駆けつける

石原氏と四条河原町で

伏見大手筋で石破氏と

今回の選挙では、谷垣総裁は一度も京都に帰れなかった。その代わり、数人の大物議員が応援に駆けつけてくれた。最初に顔を見せてくれたのは、党政調会長の石破茂衆議院議員（鳥取1区）である。この方は防衛問題に詳しい。雨の激しく降る日であったが、嫌な顔もせず伏見の大手筋などの商店街を一緒に桃太郎作戦に参加してくれた。テレビで顔が売れているので、買い物客、通行人が、携帯で盛んに写真を撮る。次の助っ人は党組織運動本部長の石原伸晃衆議院議員（東京8区）。石原氏は経済、金融問題に明るい。石原東京都知事の長男。気さくで、明るい性格である。石原氏は伏見区の淀町商店街を候補と一緒に歩いた。石破、石原両氏とも二ノ湯候補の慶応大学の後輩。

終盤戦、人気候補者が京都に入る

参議院比例区には、今回も与野党ともに人気タレントを候補者に担ぎ出した。柔道選手、元野球監督、元体操選手のほか女優、落語家と多種多彩である。「良識の府」にそんな素人とは何事か。国民の多くは怒っているが、1議席でも多く取りたい政党幹部には馬耳東風のようだ。選挙戦の最後の土曜日、女優の三原じゅん子候補が京都に入ってきた。選対本部では、人気女優と二ノ湯候補とを繁華街を歩かせて、浮動票を獲得しようとした。女優とは有り難いもので、ほとんどの通行人が三原候補の顔を知っている。そんな彼女であったが、京都で獲得できた票は2859票に過ぎなかった。人気と票は比例しない。最近は有権者もタレント候補にはなかなか厳しく評価する。タレント候補で当選できたのは三原候補と柔道の谷亮子だけであった。最終日には、前少子化担当大臣の小渕優子衆議院議員が入り祇園石段下など市内数ヶ所で街頭演説を行い、二ノ湯候補と商店街を歩いた。

祇園商店街を小渕優子議員と、必勝の鉢巻を締めて街頭に出る

投開票日、早々と当確となる

加藤盛司京都市会議長の発声で
勝利を祝って乾杯

選挙戦の終盤となると、新聞各紙が情勢の記事を掲載する。最近の世論調査は非常に精度が高く、当日の結果とあまり誤差がなくなってきている。報道によれば、二ノ湯候補もかなり健闘している様子であるが、蓋を開けて見なければ、結果はわからないという不安な心理にもなる。受験生が試験問題が出来たから大丈夫だと思う反面、合格者一覧表を見るまでは安心できない、心細い気持ちになるのとよく似ている。当日の出口調査の途中経過を聞きたいが、恥ずかしい思いもする。夜の7時過ぎ、事務長の田中セツ子京都市会議員から、NHKが8時すぎには当確を打つので、8時半には事務所に必ず来るようにと連絡が入った。その時点で今まで溜まっていた不安な気持ちがいっぺんに吹き飛んだ。たくさんの方たちが待つ祝勝会場に着き、改めて嬉しさがこみ上げてきた。それにしてもあまりにも早い当選確実の報に、お祝いに駆けつけた人々も呆気にとられていた。

二期目の当選に際して、私の決意

●当初、自民党には厳しい情勢でありましたが、このままでは自民党が消滅してしまうと危機意識を持った多くの皆様のご支援のおかげで、二度目の当選を果たすことが出来ました。心より感謝申し上げます。今後6年間、私は当面する日本の課題に果敢に取り組んでまいりたいと考えております。●日本は小さい島国で、資源もありません。国際経済競争に勝ち抜き、現在の経済力を維持し、経済を成長させるには、創造力豊かで、強い精神力を持ち、しかも高い志を備えた人材が必要です。そのためには現在のゆとり教育、競争のない教育を見直さなければなりません。●民主党が推進することも手当てのような子供の自立心、独立心、そして勤勉な意欲を損なうような施策は早急に止めるべきです。しかし、優秀な人が経済的理由で勉学を断念することがないような奨学金制度などの充実はしなければなりません。●15年先には、日本社会は65才以上の人が、国民の30%を超えると予想されます。労働人口の2人が1人の高齢者を支えなければなりません。そのときの年金、医療、介護制度はどうなるのか。高齢者が安心して、老後を暮らせるように、それらの制度を安定したものにしなければなりません。●安定した制度の確立には、裏づけとなる恒久財源が必要です。その財源をどこに求めるのか。消費税の増税は避けて通ることは出来ません。民主党のバラマキ政策の財源ではなく、社会保障の充実のための財源に充てるべきです。国民の皆様に国の財政状況を明らかにして、理解を求めることが大事です●都市と地方の格差も深刻な問題です。この一年間、京都府内を回り、過疎、限界集落を見てまいりました。これらの集落も道路や上下水道などの社会基盤整備は終了していますが、若者は少なく、人口減少に歯止めがかからず、鳥獣被害がひどく、だんだんと生活機能が弱まっています。あと、10～15年もすれば日本から村が無くなってしまう危険性があります。どうしても、そんな事態を防止しなければなりません。●あれやこれや考えると、日本は今、大変な状況です。政治家の責任は重要です。私は、日本国民が平和で安心して暮らすことが出来るように、将来に禍根を残すことのないように、問題解決のために一生懸命に努力をしてまいりたいと思っております。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

参議院議員　**二ノ湯さとし**

日本を立て直す！ 衆議院議員候補者 募集

自民党は 日本再生のため“新しい力”を求めています。
と共に新しい日本を創りましょう！

【公募要領】

公募実施選挙区
①**京都府第2選挙区**(左京区、山科区、東山区)
②**京都府第3選挙区**(伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町)

応募資格
広書資格は次の通りです。
①日本国籍を有する満50歳までの方
②自薦、他薦を問いません。
但し、選挙区に地縁、血縁のある方が望ましい。

公平、透明な開かれた選考によります。
※個人情報は完全に護ります。

自民党

お問い合わせ及び資料ご請求先
自由民主党京都府支部連合会 選考委員会
〒604-0052 京都市中京区御池通堀川東入北側
Tel.075-222-0101　FAX.075-241-0405
HP http://web.kyoto-inet.or.jp/org/jimin/

二ノ湯 夏まつりのご案内

主催：府会議員 二ノ湯しんじ後援会
協賛：参議院議員 二ノ湯さとし後援会

今年もホテルの宴会場がすべて、夏祭り会場に!
懐かしい夏祭りの雰囲気を満喫しにいらっしゃいませんか

お一人様 **5,000**円

日時 **8月3日(火)** 16：00～21：00

場所 **ホテルグランヴィア京都**（JR京都駅ビル内） **3階宴会場**

チケットのご購入・お問い合わせは
二ノ湯しんじ事務所　TEL 075-862-1355 FAX 075-862-1350
二ノ湯さとし事務所　TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

身辺雑記

一、選挙カーに乗っているときは、出来るだけ身を乗り出して手を振らなければならない。梅雨時の選挙で、雨が心配されたが、幸いにも降ったのはほんの数日で、それもたいした雨でなく本当に助かった。

一、毎日朝8時から6時までほとんど選挙カーに乗っていた。狭い車内で、同じ姿勢を取り続けることは結構疲れる。体重は4キロ減ったが、それでもバテることもなく、元気よく、17日間の選挙期間を終えることが出来た。

一、6年前の選挙は、現職を相手に戦う挑戦者。当選するかどうかなど考える余裕もなく、無我夢中で走り回っていた。現職になると、良い悪いは別にして、この席を維持したいという心境が先に立つ。

一、選挙が終わって町を歩いていたり、電車に乗っていたりすると、「良かったですね、頑張って下さい」と見知らぬ人から声を掛けられる。有り難いことである。改めて責任の大きさを感じ、身の引き締まる思いがする。

一、今期限りで政界から引退すると表明した鳩山前総理。地元での歓迎に舞い上がったのか、引退するか否かの決断を来年の統一地方選挙まで引き伸ばすと変更した。相も変わらず発言が軽い。

一、暴力団関係者の維持員席での観覧から端を発し、野球賭博へと大相撲を取り巻く問題は深刻である。相撲協会は天皇賜杯を返上、NHKは中継を取り止めた。信頼を回復するためには、ゼロからの出発が大相撲には必要である。

一、中学生の女子生徒が自宅に放火し、両親と妹を死傷させた。家庭に強い不満を持っていたようだ。それにしても両親を殺害しようとした動機は一体何か。何が子供をそこまで追いやったのか。改めて、家庭の絆の大切さを思い知らされた。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

第200回 みんなで歩こう湯歩会（参加者116名）

天橋立智恩寺にて

第199回 みんなで歩こう湯歩会（参加者60名）

府立植物園にて